

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第362号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2017年2月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

ヨーロッパ研修旅行

TOP*NEWS

スキー部 国体、インターハイ、関東大会出場決定
柔道部女子 全国大会出場決定
中等部・高校吹奏楽部定期演奏会開かれる



ヨーロッパ研修旅行(デンマーク・フレデリクスボー城の前にて)



中等部吹奏楽部定期演奏会(高輪区民センター区民ホールにて)



高校吹奏楽部定期演奏会(ミュージア川崎シンフォニーホールにて)

2016年度学校運営方針

2016年度の学校運営方針重点目標達成に向けての本校の取り組みを紹介します。

本校の取り組み PART.4

「朝読書」を推進し、
落ち着いて授業へ取り組む姿勢を生み出し、
読解力・文章表現力を育成する

各行事の確立と見直しを行う

危機管理、安全指導を徹底し、
「登下校時の緊急避難校ネットワーク」の周知に務める

報告・連絡・相談を密に行う

教員間、教科間、学年間、分掌間等で連携を取り、
チームワークを重視し、組織として生徒指導にあたる

学校は単に勉強を教える場というだけでなく、人格形成の場でもあります。「人を育てる」ということには、きわめて広範な要素が含まれます。そうした多種多様な教育の要素に対応していくため、学校は、「教科」「学年」「分掌」といった組織構造を持つのが一般的で、本校も例外ではありません。

組織化は一方で形式主義や、前例至上主義といった弊害を生むこともあります。そうすると、一つ一つの仕事が、形骸化して本来の目的を達成できなくなってしまいます。

本校では、たとえどんなに多忙でも、そうした弊害に陥らず、あらゆる場面で「人を育てる」という学校本来の目的を見失わないよう、それぞれの役割の中で仕事に取り組んでいます。

付属高校生のためのヨーロッパ研修旅行



特別な10日間

2年3組 入江 健伍

今回が自分にとって初めてのヨーロッパ訪問でした。旅のメンバーとの顔合わせ。お互いの校風や住んでいる地域の話で盛り上がり、すぐに打ち解けました。出発前に犯罪に遭うリスクが十分に高いため、所持品の管理や周囲への警戒を徹底するように言われ、気が引き締まりました。過去数千年以上も地震が発生していないため、建造から千年を迎える建物や街並みが多く、自分の想像を遥かに超えるスケールの大きさに圧倒されました。またそれらの建物や景観保全のため、新築する建物の高さの制限や自転車レーンの設置、路面電車、トロリーバスの見直しなど柔軟な法整備にとっても感心しました。また現地在住の日本人ガイドさんによる豊富な知識や熱意のある説明のおかげで、より中身の濃いものとなりました。この研修旅行での出会い、経験、食文化などその全てが宝物です。



パリ・オペラ座にて



パリ・エッフェル塔



ドイツ・ヴィースの巡礼教会(世界遺産)

充実した10日間

1年6組 千葉 智美

私はこの10日間でたくさんのことを学びました。特に興味があった建造物と食文化について多く触れることができました。一番印象に残っているのは教会です。ヨーロッパの教会は、ほとんどがキリスト教の教会でバロック式という金を使った華やかな造りでした。800年以上前のヨーロッパの人々の好みや天井画、彫刻についても理解を深めることができました。また、エッフェル塔やノイシュヴァンシュタイン城は実際に入って内装も見学することができ、普段本やテレビで見ただけではわからないことばかりでした。

この研修で、日本にいたら知らなかったことを知ることができ、本当に良い経験ができました。これからの自分の人生に生かしていきたいです。

ヨーロッパで得たこと

1年6組 小泉 龍平

東京から飛行機で約12時間、日本とは何もかもが違うヨーロッパ。まずきれいな街並みに驚きました。西欧では古い街並みを残すため、景観にもものすごく気を使っています。そのため、一般の民家でさえ非常に豪華な造りをしています。きれいな景色、おいしい食べ物などいろいろなこと触れた今回の研修ですが、私が一番うれしかったことは他の付属校に友達ができただけです。当然、初めて会う人ばかりで最初は不安でした。しかし、日数を重ねるたび、だんだん仲良くなっていき、最終日には「また会おう」と約束するまでになりました。ヨーロッパでさまざまなものを見て、さまざまなことを経験しただけでなく、友達に出会えたことは何物にも代えがたい思い出になりました。ここで得たことをこれからの人生に生かしていきたいと思えます。



デンマーク・人魚姫の像をバックに

SSH活動報告

ファミリー・スーパーサイエンス教室

12月18日、ファミリー・スーパーサイエンス教室が開催されました。これは、周辺地域の小学生を対象にしたSSHクラスの生徒による科学教室です。東海大学理学部物理学教授の藤城先生による科学講座『骨伝導スピーカーを作ろう!』と、生徒による体験実験を行いました。今年もたくさんの小学生と保護者に参加していただきました。



藤城先生による科学講座

最後の仕事を終えて

SSH委員委員長 3年10組 大箭 望

私は、SSH委員として最後の仕事を終えました。最後の仕事は、FSS(ファミリー・スーパーサイエンス教室)で液体窒素を使い、実験をして子供たちに見せることでした。液体窒素は、マイナス196℃にもなります。そのため、間違っただけで触れたりすると、重度の低温やけどを負ったり、非常に危険なので、誰もけがをすることなく安全に遂行することができ、よかったです。私は、2年間紙飛行機グランプリなど別の実験に参加していたため、3年目といっても、初めての取り組みだったので、ちゃんと堂々としていられるか、また本番中に実験をしながら周りを見て、ちゃんと子供たちの対応ができるか不安でした。しかし、当日は私が考えていたより、子供たちは言うことをよく聞いてくれました。そして、先生方や大学の先輩の協力もあり、無事に終わらせることができました。3年間のSSH委員の仕事がとても短く感じました。不出来な委員長でしたが、協力してくださった先生方、SSH委員の皆さん、本当にありがとうございました。



うまくできるかな?



なぜ混ざらないんだろう...

| テーマ | 担当生徒(学年) |
|-----------------|---|
| 科学講座 | 大出水和也、田口隼平(3年)、武井月海、青木亮一郎(2年)、小出亜美、重光泰智、武井亮磨、三村惟流(1年) |
| ダイラタンシー | 山田弥生(3年)、阿部翔(1年) |
| レインボーウォーター | 藤井優駿(2年)、嶋田楽人(1年) |
| 偏光板 | 鎌田康太(2年)、金田拓馬(1年) |
| プチボール | 齋藤日菜(2年)、河野鷹通(1年) |
| 電気のふしぎ | 吉川瑞希(3年) |
| 液体窒素 | 大箭望、生魚雄大(3年)、安藤伊織(1年) |
| 超伝導の不思議 | 西垣祐汰(3年)、石橋大朗、金子翼、棚橋郁斗(2年) |
| 紙飛行機グランプリ | 山本弥香(3年)、岩瀬匠海(1年) |
| ハノイの塔 すうがくdeアート | 山口翔(3年)、高橋凌真(1年) |
| ロボットで遊ぼう | 情報通信学部 |

SSHクラス合同同窓会

2016年12月18日、本校食堂にて、「第1回SSHクラス合同同窓会」が開催されました。2006年度にSSHクラスの1期生が卒業してから、今までに396名がSSHクラスを巣立ちました。今年度は第3期SSH指定の節目の年ということもあり、初めて合同同窓会(1期生～10期生)を開催しました。片桐校長先生の挨拶で会が始まり、思い出の写真を見たり、各代の代表者から一言をいただいたりと、あっという間に時間は過ぎていきました。同期の友人と和やかに旧交を温めただけではなく、先輩や後輩という縦のつながりで交流することができた貴重な時間となりました。



進路指導便り

1 高校1、2年生希望者に、短期大学部(静岡)のキャンパス見学会を実施

短期大学部は、食物栄養学科と児童教育学科の2つの学科から構成される短期大学です。以下に、両学科の特徴と当日のキャンパス見学会の様子を紹介します。(2016年12月15日(木)実施)

(1)食物栄養学科

食品、栄養、健康、栄養士の役割を総合的に学ぶとともに実験、実習等を通して、技術の修得、科学的な視点を身につけ、健康づくりのプランナー、食生活のアドバイザーとしての栄養士を養成する。栄養士(国家資格)と栄養教諭免許(二種)が取得可能である。

(2)児童教育学科

人間の成長に最も重要な時期である、乳幼児・児童期の保育・教育を総合的に学ぶことで、幼稚園教諭免許(二種)、保育士資格、および小学校教諭免許(二種)を同時取得可能である全国でも数少ない学科である。



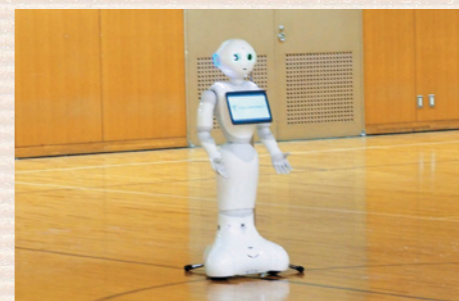
皆で楽しく学んでいます



保育の授業

2 高校1年生対象に、東海大学工学部精密工学科 山本佳男教授による現代文明論講義を実施

2016年12月22日(木)1限の時間を利用して、高校1年生対象に工学部精密工学科の山本佳男教授による「現代文明論講義」を実施しました。山本先生は、作業移動ロボット、マイクロメカトロニクス、FA(工場自動化)の研究をされており、今回は最近頻りに話題になっている「ドローン」の話を中心に、いろいろな紹介を感情認識ロボット「ペッパー」を利用して、生徒が工学分野に興味を惹くような講演をしていただきました。また、山本先生は留学センターの所長も兼務されており、「若き日に留学せよ」とのお言葉をいただきました。東海大学の各種留学体験を利用して、グローバルな視点・考え方をぜひとも身につけてほしいと熱く語っていただきました。これからの進路決定の一考になったのではないかと思います。



ペッパー君の学校紹介



山本先生の講演

学年だより 中1

☆校外活動 ～寄席鑑賞会～☆

12月2日の校外活動では、お江戸両国亭に寄席鑑賞会に行きました。落語・講談・色物と、聴いて笑って演じて、初めての寄席体験を大いに楽しみました。真打は桂伸治師匠で「まんじゅうこわい」。5月に訪れた江戸東京博物館に続き、楽しく江戸の文化に触れることができました。ちなみに「笑点」の司会者・春風亭昇太さんは、付属静岡翔洋高校の前身、第一高校の卒業生です。

楽しかった寄席鑑賞会

A組 飛田 桃

この間の校外活動で初めて寄席を鑑賞しました。前座に落語、2つ目に講談、3つ目に太神楽、4つ目に真打の方の落語を見ました。

前座の落語は名前が「桂竹む」さんという面白い名前の方が話をしてくださいました。落語は落ちがとても面白かったです。一人二役を演じていて、本当に2人いるかのようには思いました。太神楽では種も仕掛けもない芸ですごく良かったです。その中で五階茶碗という技がありました。これはバランス芸で茶碗をあごに乗せ、バランスをとったり、細い糸で物を宙に浮かせたり、使い蓑や升を番傘の上でくるくる回して、とてもすごくて私もやってみたくて思いました。最後の落語では、落語はダジャレの入ったものが多く、中には1～2秒で終わるものもあるということを知りました。

今回の校外活動で寄席を鑑賞するという良い経験ができて良かったです。テレビでもやっているので機会があったら見てみたいと思います。

貴重な経験

B組 櫻井 悠仁

最初、落語のイメージは「笑点」でした。しかし、実際に寄席に行き落語を聞いていくうちにだんだんイメージが変わってきました。いろいろな工夫がされていて面白いということがわかりました。

そして、最後の落語家さんから突然声をかけられ、高座にのぼることになりました。とても緊張しました。落語のやり方を教わり、実際にやることになりました。一人二役で、母親とその子供の役を演じました。本当は、子供が「パンツやぶれちゃったよ」と言うと、母親が「またかい」と言うはずなのに、最初から「パンツやぶれたかい?」と間違えて言ってしまいました。その時はみんなに笑われて恥ずかしかったです。その後、言い直しましたが、一人二役は難しいなと思いました。

実際、みんなの前に出てやってみて、落語家さんは落語の内容を全部覚えて、工夫して笑いをとってすごいと思いました。

いろいろなことを学んだ校外活動

A組 宮崎 竜将

桂竹むさんの落語では、小学生に落語を話しに行った時の話などもしてくれて面白かったです。

宝井琴柑さんは、尺台にハリ扇をどうたたくのかそのやり方や、ハリ扇の作り方、ハリ扇をどんな時にたたくのかを教えてくださいました。これは少し難しかったです。

鏡味よし乃さんは、落語や講談と違って芸で楽しませてくれました。その中でも、物をあごの上に乗せてバランスをとったり、それを棒の先に乗せたりしてすごいなあと思いました。しかも、傘の上でボールを転がすこともしていました。

桂伸治さんは、落語にも短いものや長いものがあるということも教えてくださいました。短い落語は行単位で終わるということも聞いて、ものすごく驚きました。そして、それを手本でやってくれたのも面白かったです。

初めての落語

B組 緒方 大泰

私は、今回初めて落語を聞きに来ました。テレビでは「笑点」を毎週見ている、いつも「テレビではなくて生の落語を聞いてみたい」とずっと思っていました。だから、校外活動で落語に行けるのをずっと楽しみにしていました。

実際に落語に行ってすごく面白かったのは、桂竹むさんの話です。竹むさんが実際に小学生に落語を話しに行った時の体験談を落語にしてくれました。その落語の内容は、竹むさんの名前の由来を小学生に尋ねられた時の話や、落語を話し始めて最初は小学生たちも楽しそうに聞いてくれていたのに、だんだんつまらなそうな顔になってきてしまったという話です。ただその話をするのはなく、一人で自分役と小学生役を演じ分けていた上に、話し方が上手なのでとても面白く聞くことができました。お腹を抱えて笑ってしまうほどでした。

ずっと楽しみにしていた落語に初めて行きましたが、落語はいろいろな人が落語家となって、子供からお年寄りまで多くの人を楽しませてくれるとても楽しいものでした。今度は「笑点」を見に行きたいなあと思っています。

学年だより 中2

12月のできごと

11月の終わりに後期中間試験がありました。結果は三者面談でそれぞれ振り返りがあったことと思いますが、いかがだったでしょうか。反省するだけでなく、きちんと復習をし、習ったことはきちんと身につけてほしいと思っています。さて、12月にはさまざまな行事がありました。今回はその行事の報告をします。

スポーツ大会

勝ちたかったスポーツ大会 A組 鈴木 秀直

中間試験の後、恒例のスポーツ大会がありました。大縄跳びという競技も加わり、競技は4つになりました。スポーツ万能な後輩上君はけがのため欠席で、自分たちはどのように勝っていったらよいのかずっと考えていました。でも何も思い浮かばなかったので、楽しむことを優先に戦うことにしました。結局総合得点は負けてしまいました。しかし、このクラスでよかったと改めて思いました。そしていい思い出がまた一つできたように思います。A組の皆さんには「ありがとう」と言いたいです。



優勝!

B組 田口 雄大

中間試験が終わって、スポーツ大会がありました。最初はドッジボールがありました。僕のチームは負けてしまいましたが、他の2チームの人たちが勝ってくれたのでB組は勝つことができました。感謝でいっぱいです。次はバスケットボールでした。一勝一敗でした。2回試合に出たので、疲れてしまいました。チームと協力できて良かったです。次は大縄跳びでした。負けてしまいました。悔しかったです。最後の綱引きはいろいろなハプニングがありましたが、勝ちました。そして結果は優勝! 前期は負けてしまっていたので、勝つことができるととてもうれしいです。クラスのみんなに感謝しています。

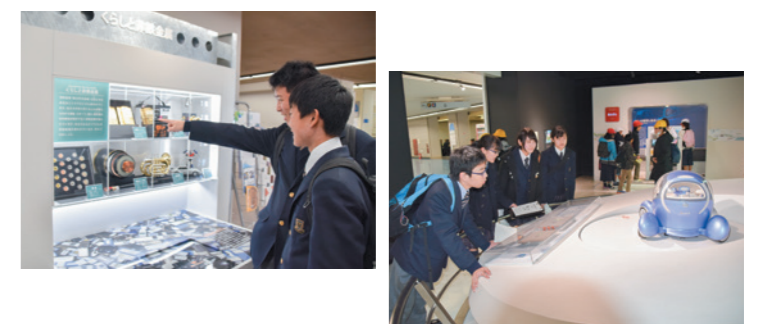
キャリア教育

スポーツ大会の後、キャリア教育が行われました。今回は全国銀行協会の方が来てくださいました。人生におけるマネープランや銀行について、興味深く生徒たちは話を聞いたり、ゲームに取り組みたりしていました。貴重な時間となったようです。



校外学習

12月2日(金)九段下にある科学技術館に行きました。まわりには武道館や靖国神社、そして美しい紅葉があり、生徒たちも堪能していたようです。技術館に入るとたくさんの小学生たちが入館していたため、並んでいる者は小学生に順番を譲ったり、少し恥じらう場面も見られたり、少しずつ成長しているのだなと実感させられる時間でした。グループごとに館全体を回りました。小学生の時に来館した生徒も多く、良い復習ができたのではないのでしょうか。



学年だより 中3

校外活動

中等部3年生は、6月に実施された歌舞伎鑑賞に続き、芸術鑑賞として劇団四季による「ライオンキング」を観劇しました。生徒たちの声をお届けします。

幼いころを思い出させる声

A組 岩瀬 正多朗

今回の校外活動は、1年の時から楽しみにしていた「ライオンキング」の鑑賞でした。3年の初めに、今年の鑑賞は違うものになる、などという噂が出回っていてショックでしたが、後に今年も「ライオンキング」を見に行けるとわかり、とてもうれしかったです。

幼いころよく「ライオンキング」を見ていました。時間が流れるのは早いし、記憶もどんどん入れ替わっていますが、最初にシンバが生まれた場面は今でもしっかり覚えていました。幼いころの僕は、ティモンとブンバアが大好きだったので、そのことから「ハクナマタタ」という言葉を日頃使っていました。今回の観劇は、そのような幼いころを思い出させてくれました。

つながり

B組 浅田 菜月

今回見た「ライオンキング」で印象に残ったことが2つあります。

1つ目は、ムファサとシンバと一緒に自分たちが治めている国を見ている場面でのことです。まだ子どものシンバが見渡しているしぐさをしている時、まるで自分がサバンナの景色を見ているような気持ちになりました。子どもの演技でも一生懸命にやれば、劇の世界に観客を引き込むことができるのだと感じました。

2つ目は歌唱力です。私はミュージカルが好きで母とよく見に行っていました。その中で「ライオンキング」の歌はとび抜けてうまくて、一緒に歌いたいほどでした。歌は「ハクナ・マタタ」と「愛を感じて」が好きです。

最初のシンバのお披露目の場面と最後のシンバの子どものお披露目の場面はとてもよく似ていました。「ライオンキング」は生命のつながりをこの場面で伝えたいのだとわかりました。



これから観劇



鑑賞日もばっちり



劇場前で



男女仲良く

学年だより 高1

「ありし昔を今偲ぶ」～泉岳寺参拝～

赤穂浪士の討ち入り(旧暦12月14日)にちなみ、12月8日～13日にかけて校歌に謳われている「赤穂の浪士眠るとこ」― 泉岳寺を参拝しました。

「赤穂事件」とは?

時は元禄14(1701)年、赤穂藩主・浅野内匠頭は江戸城内で「遺恨」から吉良上野介を斬りつける。浅野は即日切腹を命じられるも吉良はお咎めなし、というお上の裁定に納得のいかない大石内蔵助をはじめとした赤穂浪士たちは主君の無念を晴らすため、翌年の12月14日、両国にある吉良邸への討ち入りを決行する。“仇討ち”を遂げた浪士たちは浅野家の菩提寺である泉岳寺に引き揚げ、内匠頭の墓前に吉良の首級を供える。その後、幕府から切腹を申し付けられた義士たちの亡骸も、主君の墓側に葬られることとなった。



奇しくも松之大廊下事件から47年後の寛延元(1748)年、一連の騒動を題材とした人形浄瑠璃『仮名手本忠臣蔵』が大坂・竹本座で上演され、連日満員の大盛況となった。以降「忠臣蔵」はさまざまなメディアで作品化され、多くの人々から愛されている。平成の今もなお、泉岳寺を訪れ四十七士たちを弔う参拝客は後を絶たない。

- 忠臣蔵の事件は詳しく知らなかったが、ビデオを見て大石内蔵助たちが浅野内匠頭を思い、敵討ちを計画して実行した志がカッコいいと思った。歴史的に有名な事件の寺が学校の近くにあって驚いた。もっと調べてみたいと思う。(4組・京増 有紀)
- 自分たちがふだん生活している学校の横にこのような歴史を持った寺があることを初めて知り、とても驚きました。もしかしたら他にも身近なところに、自分の知らない歴史を持つ場所があるのではないかと気になりました。(6組・山崎 太智)
- 毎日通っているのにこの地域のことを全然知らなくて、泉岳寺は駅の名前でしか聞いたことがなかったです。私がよく使っている上大岡駅にも義士祭のポスターが貼られていたことに驚きました。(1組・荒井 萌)
- お寺の中に入ると多くの方がいて、みんな線香を墓の前に供えていた。僕たちも先生から渡されたので、見よう見まねでやった。ふだんこのようなことをやる機会がありませんので新鮮だった。(3組・田中 大雅)
- 私が通っていた中学校(高松中学校)に「血洗いの池」があり、事件のことをなんとなくは知っていました。しかし、調べてみるとわからないことがたくさんあり、土地の歴史を知るとはやはり楽しいと実感しました。(7組・若尾 恵実)
- ビデオで見たよりもっと泉岳寺が大きいことがわかった。今では都会のど真ん中なのに、昔のお墓や切腹した庭をきちんと保存してあることに驚いた。実際に生首を洗った井戸の前を通り過ぎて、少しぞっとした。(5組・碓井 美佐紀)
- 校歌の中の“赤穂の浪士”について、聞いたことはあったが詳しくは知らなかった。知ることができてよかったと思う。私なら16歳で切腹する勇気はないため、赤穂浪士たちの覚悟はすごいと思った。(9組・嶺 瑠音)
- 吉良の浅野に対する嫌がらせに始まり、そこから続いた復讐の連鎖は怖いと改めて思った。参拝の後、テレビで赤穂義士について特集が組まれていて、より理解することができた。(8組・岡崎 俊也)
- 僕らの家の近くに吉良邸跡があり、赤穂事件にはもともと興味があったのでとても面白かった。それなのにワークシートの解答欄を埋めることが全然できなかった。いろいろ調べてみようと思った。(2組・瀧 憲益)
- 今でこそ文明が発達し、事件も簡単に解決できるようになっているが、江戸時代には理不尽な理由で命を絶たなければならないこともあったことが今回の泉岳寺訪問でわかった。(10組・内田 拓充)



朝読書、何を読んでいますか?【第9回】 松山 賢一 先生(教頭)

英語科・松山先生のお薦め図書は、市川海老蔵さんや武田双雲さんなど多くの芸能人からも支持されている感動の一冊です。

★ 藤尾 秀昭・著、片岡 鶴太郎・画 『心に響く小さな5つの物語』(致知出版社)

著者は「小さな人生論」という本を全5巻書かれており、その中から特に反響の大きかった5話を収録したのがこの本です。10歳くらいの子からお年寄りまでお読みいただける内容になっていますので、保護者の方だけでなくお子様にもお読みいただけると思います。また、とても読みやすく短い時間で読むことができます。

興味を持たれた方はぜひお読みいただき、ひとつでも心に響くものがあればうれしく思います。

(次号は、学年副委員長・新井 菜恵さんのお薦め図書を紹介します)



学年だより 高2

新部長からメッセージ①

多くの部活動では、2年生を中心とした活動に切り替わりました。新しい部長、会長の意気込みと目標をお届けします。

| | | |
|--|--|--|
| <p>野球部 1組 山木 瑠也</p> <p>私たち野球部の目標は甲子園出場です。この目標を達成することはそう簡単ではありません。目標達成のためには、日々の練習をいかに自分の課題と向き合っていくかということが大切です。部員が71名ととても多く、まとめるのは大変ですが、協力して下さる方々や、お世話になった先輩方に、結果で恩返しできるようにこれからも練習に励んでいきます。応援をよろしくお願いいたします。</p> | <p>女子バスケットボール部 1組 沼田 みなみ</p> <p>私たちの目標は、選手権大会で東京都ベスト32に入ることです。それは決して簡単なことではありません。目標を達成するためには、日々の練習や2年生と1年生のコミュニケーションが大切になっていきます。今は部員が12人と少ないですが、全員で気持ちをひとつに、目標に向かって一生懸命頑張っていきたいと思っています。</p> | <p>陸上競技部 9組 相原 幸輝</p> <p>現在陸上競技部はつらい冬期練習を行っています。春からの大会、インターハイ予選で一人ひとりが都大会へ勝ち進むこと。また、各大会で上位8位に入賞することを目標に練習を積んでいます。最近部活動としても団結力を高め、部員一同モチベーションも高く盛り上がっています。来年度は今年度より確実に強くします。応援をお願いします！</p> |
| <p>ダンス部 9組 泊 楓</p> <p>現在ダンス部は1・2年生ともに冬の大会に向けて練習を行っています。私たち2年生は、昨年先輩方が残して下さった結果に並び全国優勝を目標としています。また、夏の大会では全国大会に出場し、自分たちが納得する良い結果を残すことを最終目標とし、ダンス部一丸となって頑張っていきます。応援をよろしくお願いいたします。</p> | <p>軽音楽部 8組 安西 志穂</p> <p>新体制となった軽音楽部では、「みんなでつくる軽音楽部」という目標を立てました。この目標を立てる上で考えたのは「私自身、部長として何かできることはないか」ということです。部長として部活動を運営する立場にありながら、部員の声に耳を傾けて活動することは難しいことだと思いますが、副部長と力を合わせて頑張りたいです。</p> | <p>美術部 8組 鶴岡 亮久</p> <p>私たち美術部は1人ひとりが自分の個性を出した作品を制作しています。高校は部員が増えてきました。その美術部員を1つにまとめあげ、個性あふれる作品を作成したいと思っています。多くの人に興味を持ってもらえるよう、積極的に美術展に応募していくことを抱負とし、頑張っていきます。</p> |
| <p>スキー部 10組 佐藤 茂</p> <p>スキー部の部長になりましたが、あまり上手ではありません。でも、この部活動のために私ができることがあるはず。部員とコミュニケーションをとるよう努力し、お互いが理解し合える雰囲気を作り、さらに競い合ってスキーの技術を伸ばしていけるような部活動にしたいと思っています。</p> | <p>女子バレーボール部 6組 田口 もみじ</p> <p>私たちの最終目標は夏季大会でブロック優勝をすることです。この目標を達成することは簡単ではありません。そのために私は部長として部員をまとめ、時には厳しくも、部員から信頼してもらえるキャプテンを目指していきます。応援してもらえるチームを作るために、まず日常生活から正していこうと思います。</p> | <p>卓球部 6組 伊瀬 孔郎</p> <p>チームの目標は都大会ベスト8と、関東大会の出場です。目標を達成することは簡単ではありませんが、チーム全員が同じ方向を向いて、毎日の練習を頑張っていけば、達成できない目標ではないと思います。部の中心となって、部員を引っ張っていけるように頑張ります。</p> |
| <p>アメリカンフットボール部 5組 古川 大基</p> <p>私たちは関東大会を目標に、日々練習、努力しています。一昨年、去年と出場はかなわず、悔しさと残念さでいっぱいでした。今年こそ目標達成に向けて、毎回の練習を大切にしていきたいと思っています。応援をよろしくお願いいたします。</p> | <p>弓道部 5組 三富 裕介</p> <p>私たちの目標は大会で良い結果を残すことです。そのためには、集中し練習を重ねることが大切です。私は部員全員が良い練習ができるような環境を作っていきたいと思っています。先生方や部員と話し合いながら、これからの方向を考え、決めてゆきたいと思っています。</p> | <p>華道同好会 9組 木村 天音</p> <p>学校の片隅でひっそりと活動しています。しかしながらとてもアットホームで温かい場所でもあり、いつも季節の花に触れながら、和やかに活動しています。この雰囲気を大切にしながら、技術も磨いていきたいと思っています。今後とも部員一同をよろしくお願いいたします。</p> |
| <p>テニス部 6組 大澤 美紀 7組 立花 宗嵩</p> <p>新たに硬式テニス部の部長となり、人数の多い部をまとめていくことの大変さを知りました。昨年は男子が東京都で5位に入るなど、少しずつ成果として表れつつあります。限られた練習時間を大切に、先生方や親への感謝の気持ちを忘れず、男女ともにさらに上を目指してこれからも練習を一生懸命頑張っていきたいと思っています。</p> | <p>ディベート研究同好会 7組 杉浦 光</p> <p>来年度は、個人の能力を高められる年にしたいと思っています。ディベートは途中の立ち回りが良くても、最後まで試合はわかりません。一人ひとりがそれぞれの武器を持つことによるチームの総力で勝負します。私個人としては協調性を高め、より一つにまとめたチームを作れるよう、今までよりも一層精進してまいります。</p> | <p>写真部 2組 鈴木 舜花</p> <p>私たちのこれからの抱負は、積極的に活動を増やしていくことです。先生からヒントをもらいながら、部員同士で撮影方法などについて学び合い、それを生かして校外のさまざまな場所へ撮影をしに行こうと思います。そして、撮影した写真を校内で展示するなどして、皆さんに活動を知ってもらえたらうれしいです。部員一同で頑張ります。</p> |

学年だより 高3

最後の建学祭②

今号も、前号に引き続き、各クラスの出展団体責任者に建学祭を振り返ってもらいます。

| | |
|---|---|
| <p>6組 小嶋 菜生</p> <p>3年生最後の建学祭。私のクラスは焼き餃子を販売しました。私は準備、片付けを中心に協力しましたが、最後の建学祭ということで必ず成功させたいと思い、取り組みました。気が付けば、金券は完売、たくさんの餃子が売れて、とてもよかったです。みんなと一緒に最高の建学祭を経験できて、とても良い思い出になりました。</p>  |  |
| <p>7組 秋田 康大</p> <p>私たち3年生にとって「最後の」建学祭が終わりました。7組はドーナツとチュロスを出店し、2日間通じて大盛況でした。建学祭を通して普段では味わえない胸騒ぎを感じました。教室には建学祭の後味がほろ苦く足跡を残しつつある中、私たちの残した足跡はどのような「道」へと変わるのでしょうか。</p>  |  |
| <p>8組 古川 優花</p> <p>私たちのクラスはポテトチップスを作りました。ジャガイモの芽を取る作業から始まり、揚げるまで全て手作りで行いました。当日は、ジャガイモが足りなくなったり、ベニヤ板がひっくり返り、油の大洪水になるなど「事故」が起こりました。しかし、クラスの皆が協力し、献身的に動いてくれたため成功させることができ、最後の建学祭を思い出に残るものにできました。</p>  |  |
| <p>9組 加川 諒</p> <p>私のクラスはホットドッグを販売しました。簡単にできると思っていたのですが、実際に取り組んでみると、食材を焼きすぎてしまうなど大変なことばかりでしたが、当日は多くのお客様に喜んでいただき、頑張ったよかったです。普段は忙しいクラスメートと一緒に、建学祭を通して団結力を高めることができました。</p>  |  |
| <p>10組 田口 隼平</p> <p>高校生活最後の建学祭で、私はクラス委員として、さまざまな経験をすることができました。模擬店の企画や準備で多くの人の協力を得たり、作業中には人を動かすことの大変さを学びました。今までは楽しむことばかりを考えていた建学祭でしたが、クラスメートを動かす側に回ることで、最後にいろいろなことを学ぶことができ、良い経験になりました。</p>  |  |

お知らせ

中等部3年 オーストラリア海外英語研修旅行

日程 2月13日(月)～22日(水)

ブリスベンで9泊のホームステイを行い、昼間は各種のアクティビティを実施します。
英語力をさらに向上させるための英語研修のほかに、現地中学生との交流会、市内観光を行います。
十分に準備をして、素晴らしい思い出を作ってください。

スポーツ大会(本校アリーナ) 高1:2月14日(火)／高2:2月15日(水)

今年度最後の学年行事です。クラスの団結力を高めましょう。

基礎力判定テスト 高2:2月14日(火)／高1:2月15日(水)

■試験科目 国語 数学 英語 理科 地理歴史・公民

4/11(火)実施予定の基礎学力定着度試験のプレテストです。
希望する進路の実現に向けて、しっかりと準備をしてください。

行事予定

February 2月

March 3月

- 1日(水) 中等部第1回入学試験(生徒自宅学習日)
Tokyo Sightseeing Tour(中1)
- 2日(木) 中等部第1回入学試験可否発表
- 3日(金) 中等部第2回入学試験(生徒自宅学習日)
- 4日(土) 中等部第2回入学試験可否発表
- 5日(日) 中等部第3回入学試験(生徒自宅学習日)
- 6日(月) 中等部第3回入学試験可否発表 答案返却(中3)
- 7日(火) 振替休日(2/5分)
- 8日(水) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 10日(金) 高校一般入学試験(生徒自宅学習日) マナー講座(中3)
- 11日(土) **建国記念の日**
高校一般入学試験可否発表
- 13日(月) 海外英語研修(～22日:中3)
- 14日(火) スポーツ大会(アリーナ:高1) 基礎力判定テスト(高2)
特別時程(中1、中2)
- 15日(水) スポーツ大会(アリーナ:高2) 基礎力判定テスト(高1)
特別時程(中1、中2) 専門医によるカウンセリング⑥
- 19日(日) 英語検定(2次:中等部)
新入生制服採寸・教材販売(高校推薦、中等部)
- 21日(火) 校医相談日⑩
- 23日(木) 生徒休業日(中3)
- 26日(日) 新入生・保護者登校日(中等部)
新入生制服採寸・教材販売(高校内部、一般)
- 27日(月) 登校日(高3)

- 4日(土) 3年生を送る会(45分短縮授業、1時限カット)
高輪会入会式(高3)
- 5日(日) 第8回(中等部)・第68回(高校)卒業証書授与式
高輪会役員会④
- 6日(月) 振替休日(生徒自宅学習日)
- 7日(火) 後期期末試験(～10日)
- 11日(土) 生徒自宅学習日
新入生制服採寸・教材販売(延納)
- 13日(月) 答案返却
教科書販売(新高3)
- 14日(火) 生徒自宅学習日(～16日)
- 17日(金) 修了式・離任式
教科書販売(新高2)
- 18日(土) クラス分け試験(新高1)
- 20日(月) **春分の日**
- 23日(木) 基礎力判定テスト結果補習(高1、高2)(～28日)
春期講習(中1、中2)(～28日)
- 25日(土) 後援会委員総会④

編集後記

年が明け、あっという間に2月。寒い日も続くが4日は立春、暦の上で春を迎える。社会の情勢に目を向けると、アメリカではトランプ政権がスタートした。今後の世界の動向が注目される。昨年5月、オバマ前大統領の広島訪問、暮れの安倍首相の真珠湾慰霊訪問は、日米関係において歴史的な1ページとなった。混迷する世界情勢の中、今こそ世界に求められるものは、日米両リーダーのそれぞれの言葉にあったように、「オタガイノ、タメニ」(オバマ前大統領)、「寛容の心がもたらした“和解の力”」(安倍首相)なのではなかろうか。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>